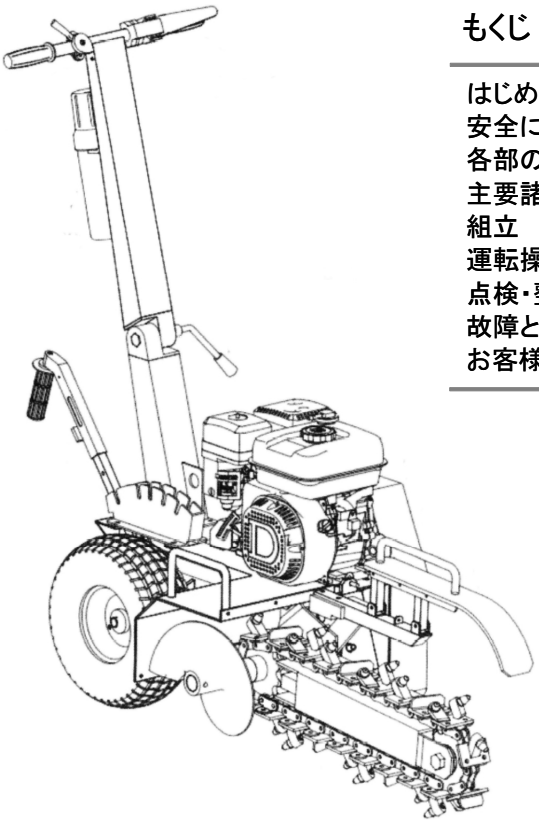
溝堀機

取扱説明書

HG-TRC200



もくじ

はじめに	2
安全にお使いいただくために	3
各部の名称	7
主要諸元	8
組立	9
運転操作の仕方	11
点検・整備のしかた	14
故障と思ったら	15
お客様ご相談窓口	16

はじめに

このたびは溝堀機をお買いあげいただき誠にありがとうございます。 安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

●表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
●すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。

⚠ 警告	⚠ 注意
誤った取扱をしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。	誤った取扱をしたときに、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。

●製品の仕様変更により、本書記載内容が一致しないことがあります。予めご了承ください。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

●警告ラベル

⚠ 警告

・警告ラベルは、製品に貼りつけてあります。
■溝堀機操作に係る安全事項
・作業に適した服装を心掛けてください。目と耳の保護、ヘルメット、長靴、手袋、および防塵マスクを使用してください。
・動作部分から頭、毛髪、指、など身体を遠ざけてください。 また、長ズボン、長靴を使用してください。 長い髪の毛は十分注意してください。
・溝堀機を屋内で使用しないでください。屋外でのみ使用してください。
・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
・作業の前に、掘る領域の地下に、電気のケーブル、ガス管、水道管などが埋められていないことを確認してください。
・操作中は、足場に注意してください。
■溝堀機に係る安全
・使用前に溝堀機を点検してください。破損、摩耗した部品は交換してください。
・燃料の漏れ、各部の緩みを確認してください。
・溝堀ブレードを交換するときは、溝堀チェーンやエンジンが完全に止まっていることを確認してください。
■メンテナンスに係る安全事項
・マニアルに沿ってメンテナンスを実施してください。
・メンテナンスを実施する前に、点火プラグコードを外してください。
・燃料キャップは、エンジンを止めてから開けてください。
■燃料に係る安全事項
・燃料は、屋外の換気の良い場所で、エンジンを止めて行ってください。
・給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
・燃料をこぼさないでください。燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
■掘削作業に係る安全事項
・作業をする前に、作業領域に、パイプ、石、その他の異物が無いこと、足場が不安定でないことを確認してください。
・作業時は、使用者から15メートル以内は危険です。 助手、子供、動物、などが近づかないように注意してください。
・溝堀チェーン、オーガ、その他回転部分から身体、衣服を離してください。
・エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。
■輸送に係る安全事項
・本製品を輸送するときは、エンジンを止め、燃料バルブを閉じてください。
・エンジンが十分に冷えてから輸送してください。

安全にお使いいただくために

●はじめに

⚠ 警告

・本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、理解したうえで正しく取り扱ってください。
・このマニュアルの中の警告と安全手順を必ず守ってください。
・本製品は、誤った取扱を行うと、使用者や近くにいる人が重傷に結びつくことがあります。
・正しい操作を知らない人は操作しないでください。
・もし、マニアルに記載されている警告や操作手順が不明な場合は、操作しないでください。
・この製品は、主に地面に溝を掘るように設計しています。 指定された用途以外には使用しないでください。
・部品交換は、純正部品を使用してください。
・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。 また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
・この説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

●ご使用前

⚠ 注意

・本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、理解したうえで正しく取り扱ってください。
・使用前にブレードに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・各部のネジに緩みが無いことを点検してください。

●ご使用中

⚠ 警告

・定期点検整備を行ってください。
・回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服などを近づけないでください。
・電線やケーブルに触れると感電する恐れがあります。 作業の前に作業領域の点検をしてください。
・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しない

でください。

●ご自身、周囲の保護

⚠ 警告

・使用者は、使用者自身や周囲の人、動物に対する危険事項を理解し、十分注意してください。
・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽、耳栓などの作業に適した服装を心掛けてください。
・回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服などを近づけないでください。
・ご使用時は、使用者から15m内は危険、人や動物がはいらないようにしてください。

●子供とペットに係る安全事項

⚠ 警告

・ご使用時は、責任者が監視のもと、使用者から15m内に、人や動物がはいらないようにしてください。
・万一子供や動物が作業領域に立ち入ったときは、速やかにエンジンを停止してください。
・子供には本製品の操作をさせないでください。

●溝堀機に係る安全事項

⚠ 警告

・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
・室内や換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
・子供の手の届かない安全な場所に保管して下さい。
・火気のないところに保管してください。
・燃料ホースやグロメッツに損傷があった場合は、速やかに良品と交換してください、また、5年使用後も交換してください。
・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、エンジンが十分冷えた後、屋外の換気の良い場所で行って下さい。
・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

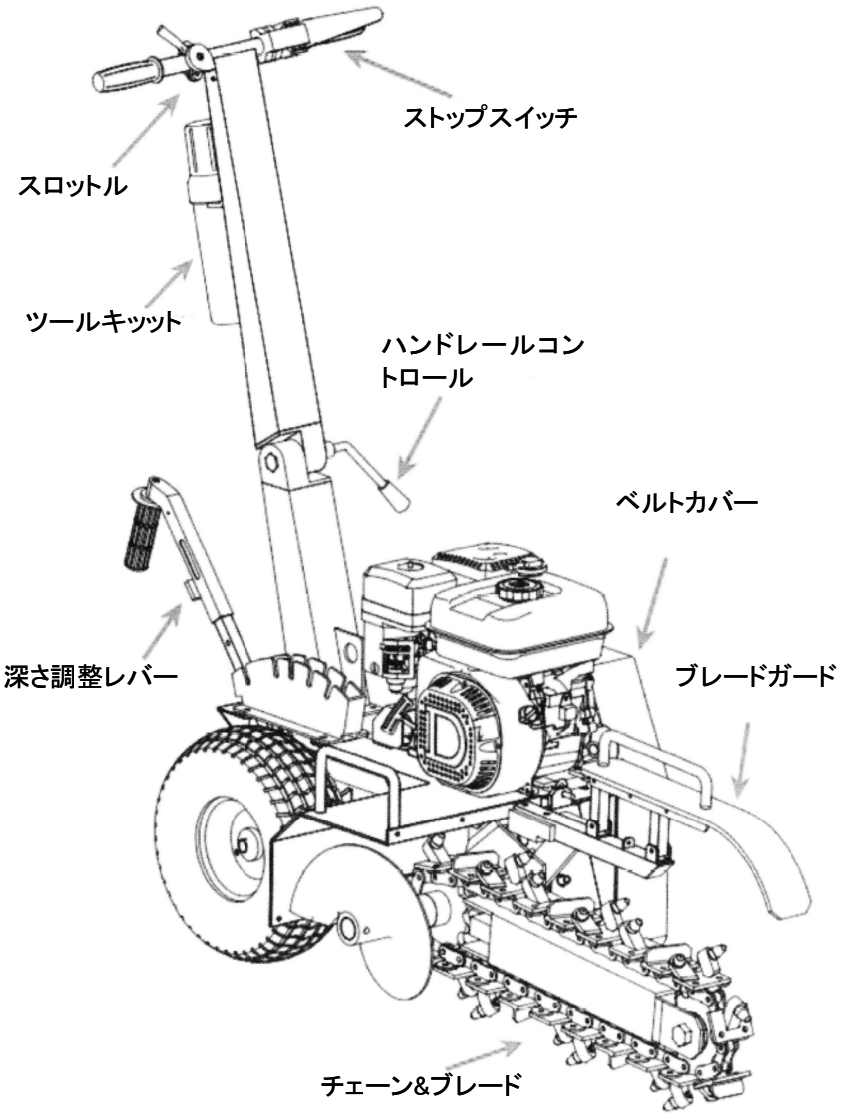
・燃料キャップは確実に締めてください。
・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
・整備・点検するときは、エンジンを停止し、エンジンが冷えてから、スパークプラグキャップを外して行ってくださいください。
・エンジンが熱いうちは、可燃物を近づけないでください。
・機械カバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。
・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

●本製品の使用上のご注意

⚠ 警告

・この製品は、主に地面に溝を掘るように設計しています。 指定された用途以外には使用しないでください。
・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止のしかたを覚えてください。
・組立は、取扱説明書に沿って行ってください。
・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。 また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
・使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
・整備・点検するときは、エンジンを停止し、エンジンが冷えてから、スパークプラグキャップを外して行ってください。
・始動前点検で異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
・破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になることがあります。
・操作のしかたがよく分からない方の独自使用はしないでください。
・使用者は、使用者自身や周囲の人、動物に対する危険事項を理解し、十分注意してください。
・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
・各部のネジに緩みが無いことを点検してください。

各部の名称


ストップスイッチ
スロットル
ツールキット
ハンドレールコントロール
ベルトカバー
深さ調整レバー
ブレードガード
チェーン&ブレード

主要諸元

エンジン型式	4ストロークエンジン
エンジン	6.5HP
重量	135kg
寸法	1400mm×550mm×1290mm
タイヤサイズ	6インチ
始動方式	リコイル式
溝の幅	100mm
溝堀能力	60m/h

⚠ 注意

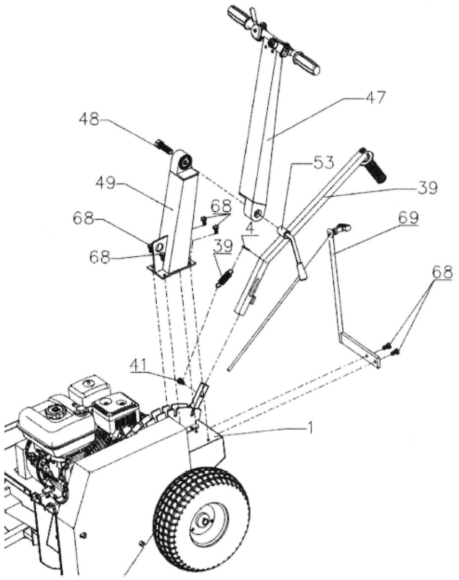
・使用者は、本製品を操作するにあたり、必要な条件、予防措置、危険性について理解してください。
・マニアルを熟読してください。
・本製品は、手動で引っぱりなか゜ら掘削を行う、チェーン方式の溝堀機で、浅く線状に溝を掘るように設計されています。
・掘削チェーンは、掘られる溝と反対側で、本体を、引張るように回転します。
・運転中に土壌の状態や障害物に当たると本体が動揺することがあります。 このようなときは、すぐにエンジンを止めて、障害物を取り除くか、その場所を避けて、掘削を行ってください。

組立

・本体の操作をする前に、「安全にお使いいただくために」をよく読んで理解してください。
・使用にあたっては、

●STEP1　ハンドルの組立

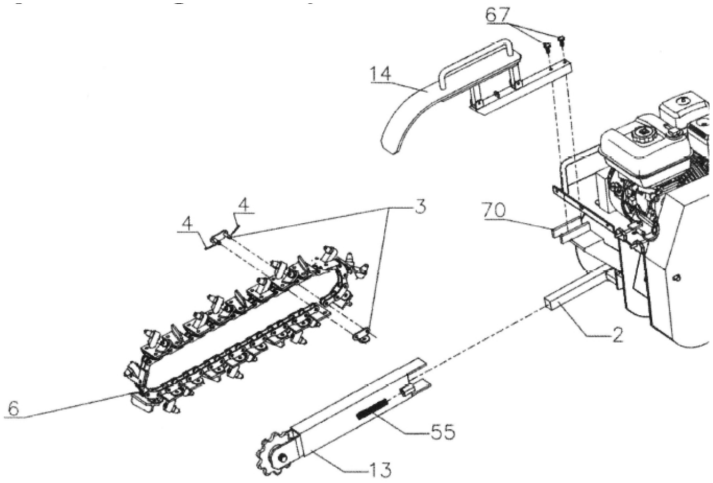
1.メインフレーム(1)にハンドル下側(49)をしっかり固定します。
2.ハンドル下側(49)にハンドル上側(47)を組立て、ボルト(48)とアングルアーム(53)でで固定します。
3.深さ表示の適切な位置にシフトアーム(39)を差し込み、ボルト(41)とスプリング(39)を固定、スプリング(39)の反対側にピン(4)を通してアーム(39)にしっかり固定します。
4.リコイル固定金具(69)をボルト(68)でメインフレーム(1)に固定します。



組立

●STEP2 ブレードの組立

1.チェーン軸(2)にチェーンアダプター(13)を差し込みます。
2.チェーンアダプター(13)の周りにチェーン(6)を固定し、チェーンの2つのヘッドをチェーンピン(4)とチェーンロック(3)でしっかり固定します。
3.チェーンをしっかり張るよう、ボルト(55)で調整します。
4.取付け金具(70)にチェーンカバー(14)をボルト(67)でしっかり固定します。



運転操作の仕方

⚠ 警告

・「安全にお使いいただくために」を熟読の上、製品の操作を行ってください。
・長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、手袋、保護メガネ、耳栓などの作業に適した服装を心掛けてください。

●エンジンの始動

1.燃料バルブを「ON」の位置に合わせます。
2.チョークレバーを「チョーク」の位置に合わせます。（エンジンが冷えている場合）
3.スロットルレバーを「FAST」の位置に合わせます。
4.イグニッションスイッチを「ON」にします。
5.リコイルハンドルを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから勢いよく真っすぐ引張ります。 エンジンがかかるまで、数回繰り返します。 ロープを最後まで引張らないでください。 引いたリコイルハンドルを途中で放さないで、ゆっくり戻してください。
6.初爆(ボンボンという爆発音)があり、そのままエンジンがかかればチョークレバーを戻してください。
▼爆発音のみで始動しない場合、すぐ止まってしまう場合は、チョークレバーを戻して、リコイルハンドルを引きます。
▼チョークレバーを引いた状態で、リコイルハンドルを引き続けると燃料を吸い込みすぎて、エンジンが始動しにくくなります。
7.エンジンを起動後、暖気運転を行い、運転状況を確認します。

運転操作の仕方

●掘削作業の仕方

エンジンがアイドル状態のときは、掘削チェーンが動いていないことを確認してください。
掘削しようとする場所に移動する前エンジンが止まっていることを確認してください。

1.深さ調整レバーを「DEPTH ″0″」に合わせます

2.エンジンを始動し、アイドル状態にします。

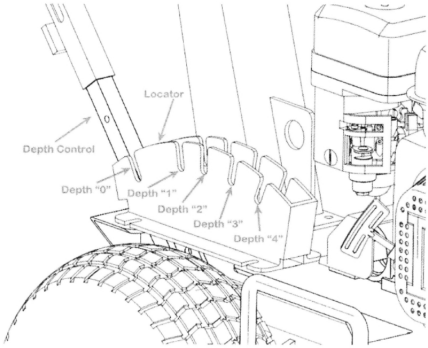
3.ハンドルを押さえ、掘削チェーンを地面に接しないように持ち上げます。

4.深さ調整レバーを希望する深さの位置に合わせます。

5.ハンドルを地面方向に押し下げで、掘削チェーンを少し地面から離します。

6.ハンドルを両手でしっかり握り、エンジンの回転数をゆっくり上げます。

7.押し下げたハンドルをゆっくり戻しながら、希望の深さに達するまで、掘削チェーンを掘り進めます。



8.間欠的に、ハンドルを引っ張り、本体を10cm～15cm後進させ、再び掘削チェーンを希望の深さに達するまで掘り進めます。

9.以上の操作を繰り返し、所定の距離を掘り進みます。

ワークポジション	トレンチャー
Depth ″0″	0mm
Depth ″1	150mm
Depth ″2	250mm
Depth ″3	340mm
Depth ″4	450mm

運転操作の仕方

●装置の止め方
ストップスイッチが、ハンドルとエンジンの2か所にあります。

1.ハンドルにあるストップスイッチを「OFF」に合わせます
2.スロットルレバーをアイドル状態にします。
3.イグニッションスイッチを「OFF」にします。

●過負荷になったとき
万一、掘削作業中に、掘削チェーンが埋まって、止まってしまったときは、エンジンを必ず止め、泥に埋まった掘削チェーンを抜き出し、再びエンジンを始動して、掘削をしてください。

⚠ 警告

・使用する前にギヤ機構にグリスを塗布してください。
・長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、手袋、保護メガネ、耳栓などの作業に適した服装を心掛けてください。
・長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
・屋内では使用しないでください。
・作業の前に、掘る領域の地下に、電気のケーブル、ガス管、水道管などが埋められていないことを確認してください。
・操作中は、足場に注意してください。
・破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になることがあります。
・部品交換は、純正部品を使用してください。

点検・整備のしかた

いつまでも、安全にお使いいただくために、定期点検を行ってください。

⚠ 警告

・点検・整備を実施する際は、エンジンを止めて、各部が冷えるまで5分待ってから実施してください。
・スパークプラグキャップを外してください。
・燃料キャップを開ける前に、エンジンを止めてください。
・部品交換は、純正部品を使用してください。

項目	使用前	3時間毎	25時間毎	100時間毎
エンジンオイル量	○			
各部の締付け	○			
ブレードの摩耗	○			
スライドレール	○			
ベルトの張り	○			
ギヤ部のグリス		○		
タイヤの空気圧			○	
エンジン外装の清掃			○	
エンジンオイル交換			○	
エアフィルタ交換			○	
スパークプラグの交換				○

故障と思ったら

●エンジンがかからない場合

⚠ 警告

・点検・整備を実施する際は、エンジンを止めて、各部が冷えるまで5分待ってから実施してください。
・スパークプラグキャップを外してください。

点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良、 ②スパーク・プラグ不良 ③スパーク・プラグ・キャップ接続不良 ④イグニッションコイルの不良 ⑤イグニッションに関る配線不良	交換 交換 調整 交換 正しく接続
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない ②燃料コックが閉じている ③燃料ホースの詰まり、漏れ ④燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	燃料を入れる コックを開く ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレータ詰まり（ニードル・バルブ膠着）	キャブレタ分解掃除

お客様ご相談窓口

故障部品を**お客様**で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

②受付
③故障内容の確認

故障部品を**メーカー**で修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

③受付
④故障内容の確認
⑥お見積り了承
⑦故障装置の修理

故障部品を**販売・修理店**で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させて頂きます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。
引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させて頂きます。

販売・修理店

②受付　③故障内容の確認　④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

①ご注文番号　②商品名　③商品の型番
④故障の状況　⑤購入サイト、年月日　⑥お名前
⑦ご住所　⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先
ホームページお問い合わせフォーム:http://www.haigeshop.net/contact
ハイガー産業お問い合わせ　検索　TEL:0276-55-2275　FAX:0276-55-2276

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。
オフィシャルサイト▶http://www.haige.jp/agency.html　ハイガー修理　検索
本店サイト▶http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html
楽天サイト▶http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html
ヤフーサイト▶https://shopping.geocities.jp/haige/after.html

ハイガー産業 株式会社

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3　ハイガー　検索　http://www.haigeshop.net/

本取扱説明書を熟読しても、弊社のサイトや動画等を見ても、問題が解決しない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。その際、迅速なご対応ができるよう「お問い合わせ件名」を必ずお伝えください。
件名：「初期不良」「1年保証内故障」「1年保証外故障」「使用方法」「その他」

お問い合わせ　ホームページお問い合わせフォーム:http://www.haigeshop.net/contact
ハイガー産業お問い合わせ　検索
TEL. 0276-55-2275　FAX. 0276-55-2276
※平日12:00～13:00はお電話は繋がりません。

※スタッフ一同、迅速・丁寧な対応を心がけておりますが、季節商品等お問い合わせが集中する時期は、電話が繋がりにくくなったり、折り返対応や折り返しのご連絡が遅くなる場合がございます。誠に恐れ入りますが、順次対応いたしますのでお待ちいただけますようお願い申し上げます。
お急ぎのご用件でなければ、ホームページお問い合わせフォームよりご連絡をいただけますと幸いです。
FAXは24時間受付けておりますが、営業時間外や弊社休業日にいただいたお問い合わせに関しましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。ご了承ください。
◎営業時間：10:00～17:00（第1・3・5土曜日は12:00まで）　◎定休日：日曜、祝日、第2・4土曜日

HAIGE
より良い品質　より良いサービス

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

2018.10①